

「全てが必然」

2017. 12. 21

No. 6

校長 川上慎治



学ぶ場は学校だけじゃない！

2学期は、各学年とも**学校から外へ出かけて**様々なことを学びに行きました。

○3年生:「幼稚園実習」

3年生は、クラスごとに幼稚園を訪問して、保育実習に。無邪気にまぶれついてくる園児たちと砂場で遊んだり、ブランコをしたり、絵本の読み聞かせをしたりしました。生徒たちは園児と話をするときは、自然と膝をつき目線の高さをあわせる姿が。最初は園児たちに喜んでもらおうと懸命に取り組んでいましたが、最後は園児たちから元気をもらって、大変満足な表情で学校に戻ってきました。教科書や資料から学ぶだけでなく、人と人の触れ合いから多くのことを学んでくれたように思います。良い経験ができました。



○2年生:「職場体験」&「未来を拓くプロジェクト」

2年生は、近隣の飲食店、図書館、薬局に、中には町外の新聞社や施設等に出かけていき、約40程度の事業所で職場体験を行ってきました。最初は緊張して周りの人々に声をかけることができなかつた生徒も、次第に慣れ、徐々に自ら進んで行動を起こすことができるようになってきたようです。将来の夢を持つことができ、どんなことがこれから必要となるのかを感じ取ることができれば、日頃の勉強に対する態度も変化してくると思います。働くことを通して、挨拶の大切さ、自ら進んで行動することの大切さ、目に見えない相手を想像し、どうすれば喜んでもらえるのか、座学では学べない貴重な体験ができたように思います。お忙しい中、生徒たちのためにご協力いただいた全ての事業所の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



生徒たちの学びは続いていきます。今の自分たちに何ができるのかを考え、郷土早島町の伝統を大切に、盛り上げようと、現在は、い草を使った卓球ラケットを地元の事業所の協力をいただきながら作製し、町内で「い草ラケットを用いた卓球大会」を開催しようと懸命に取り組んでいます。題して「未来を拓くプロジェクト」です。

うまくいかないことも多いですが、何事も前向きに取り組んでおり、全て生徒たちの手によって企画が進んでいっています。卓球大会は1月26日（金）の午前中に開催予定です。



○1年生:「福祉体験」

福祉にかかわる仕事をしている方々を招いて、基礎的なことを学んだ上で、更に自分たちでもっと深く探求しようと、町内外に関わらず、福祉施設や特別支援学校等に出かけて調べ学習を行っています。インタビューを行ったり、画像を撮ってきたりとグループで活動しました。時間通りに到着できず、ご迷惑をおかけするなど、失敗もありましたが、与えられた勉強でなく、自ら取材して主体的に勉強に取り組む生徒の姿は生き生きとしています。2月8日（木）の参観日で、生徒が発表しますので是非お越しいただきますようお願いいたします。2年生同様、参観日の発表後も生徒の学びは続いていきます。ご期待ください。



チーム早島:部活動を支援する仲間が加わる！

以前から剣道部には県から運動部活動支援員（中山 修さん）が配置されていましたが、11月下旬から新たに町から「部活動支援員」（運動部だけでなく、文化部も対象）が早島中に配置されました。1週間当たり7時間程度ではありますが、土日などの休日を中心に部活動に参加して顧問の先生方をサポートしてくれます。早島中のスタッフとして働いてくださること、大変嬉しく思っています。制度としては、部活動支援員の方々は教員がいなくても一人で、練習で指導したり、試合に生徒を引率したりすることができることとなっています。

それでは新たな仲間をご紹介します。

ソフトテニス：安部信一郎さん
バレー女子：尾崎 隆さん
卓球：木村 亮介さん

野球：角南 亮太さん
バレー男子：國近 公太さん
吹奏楽：正富明日香さん